

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2009年6月10日

No 258

発行者 ELIC編集委員会谷口利男
108-0073 東京都港区三田3-2-20
(03)3455-6006 Fax3451-3595
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

ELIC

1部100円

「原発の危険と平和を考える」



電機9条の会は、5月23日(土)午後、都内の芝公園福祉会館3F集会室で「原発の危険と平和を考える」をテーマした、第四回シンポジウムを開催しました。

この取り組みには、電機懇からは、6企業・1団体・市民ら32名が参加しました。(日立・東芝・NEC・沖電気・富士電機・岩通・電機ユニオン)当日の内容は、司会進行を高田世話人が行ない、開会の挨拶を日立OBの酒井清志さんが心を込めた内容で行いました。

講師の中村敏夫さん(日立OB)は、レジメ・資料など約30ページを用意し、米田徳治さんのプレゼンPCで効果的な映像を映し出しながら2時間余に渡り生々しい報告をして頂きました。(2面参照)

討論では、東芝の職場から原発の環境問題、NECの職場から新潟の柏崎刈羽原発の現状について質問が出され、詳細に回答がありました。

閉会の挨拶を行なった電機懇今井節生代表は、自身の出身地での漁村での環境破壊問題について言及をしました。

今月号の紙面

- ①電機9条の会第4回シンポ
- ②中村敏夫氏の講演ポイント
- ③電機大手の赤字決算を見る
- ④ルネサスとNECエレ統合
- ⑤東芝・過労うつ病解雇裁判判決
高見澤電機支部争議支援行動
- ⑥私の自慢「一人旅」堀川氏
- ⑦電機ユニオン、青年コーナー
- ⑧からむす休刊のお知らせ
集積回路、「女性部学習会」